

# 図書館情報学橋会会報 第18号(通号24号)

2015年10月発行 発行者 社団法人茗溪会支部図書館情報学橋会

素晴らしき先輩達の心意気を繋いでいきたい12

## 中馬清福さんを知っていますか？

図書館情報学橋会会長 森 茜

ちゅうま・きよふくさんを知っていますか

いささか旧聞に属するが、昨年(2014年)の11月5日、信濃毎日新聞に小さな死亡記事が出た。いわく：中馬清福(ちゅうま・きよふく＝元朝日新聞論説主幹・代表取締役専務、前信濃毎日新聞社主筆)が1日、肝門部担癌で死去。79歳。葬儀は近親者で営む。お別れの会は12月1日。長野市ホテル国際21。葬儀委員長は信濃毎日新聞社の小坂宗太郎社長。

同様の記事は、もちろん朝日新聞にも掲載された。多くの他紙も中馬清福さんの死亡を報じた。

だが、当時、これらの死亡記事に接して、何人の図書館人が、図書館に関係のある人として認識しただろうか。橋会の会員の何人が、この人が同窓の士であることを知っていただろうか。かく言う私も、数年前までは知らなかった。

中馬清福氏は養成所の卒業生だ

私に、「朝日新聞の中馬清福さんも図書館職員養成所の卒業生だ」と教えてくれたのは、小さなハガキだった。私が橋会会報の巻頭文にこの「素晴らしき先輩達の心意気を繋いでいきたい」を掲載し始めて間もない頃だった。地方の会員から、小さな文字がびっしり書かれたお便りをいただいた。そこには、その先輩自身は、故郷に戻って家業を継いだため、図書館はもとより、文化的なかわりを何一つ持つことなく人生の大半を過ごしたことが若干の感傷をもって綴られていたが、末尾に養成所時代の楽しかった思い出と共に、同級生の中馬清福氏をご自分自身の誇りにして生きていること、いつか橋会会員に紹介してほしいことが誠実な文体で書かれていた。図書館職員養成所昭和31年Aコースの卒業だ。

新聞記者への道を歩く

中馬さんは、1935(昭和10)年8月生まれて、

養成所卒業後、都立大学(現 首都大学東京)を1960年に卒業、朝日新聞社に入社。秋田・横浜支局を経て63年政治部員、78年同部次長、82年調査研究所主任、84年編集委員、86年論説委員、90年大阪本社論説主幹、91年東京本社論説副主幹、92年論説主幹代理、94年論説主幹と、ジャーナリストの花形コースを上り、1995年について朝日新聞代表取締役専務編集担当となり、2001年に66歳で朝日新聞を退職した。朝日新聞在職中には83-84年マサチューセッツ工科大学・国際問題研究所客員研究員も経験する国際通でもあった。

硬骨のジャーナリスト

中馬氏の論説は、気骨の人、硬骨漢の面目躍如たる論調で、当時(1959-60年、1970年の2度にわたる)日米安全保障条約改定に反対する国民的な運動と相俟って、朝日新聞の論調の基本を作ったと言って過言ではない。一貫して、「憲法と市民」を説き続けた。また、氏は、朝日新聞在職中に新聞協会(新聞倫理綱領検討委員会)の「新聞倫理綱領」のまとめの中心役を果たした。その委員長の小坂氏に請われて、2005年に信濃毎日新聞の主筆に就任し、松本市に移住した。信濃毎日では50年ぶりの主筆ということで、月2回掲載の論説「考」は全国的にも愛読者の多い人気の連載で、亡くなる年の春まで続けた。「軍事費を読む」「危機の政治と新聞」「日本の基本問題を考えてみよう」等、多数の著作がある。

インターネット上に、今でも2014年2月の講演「憲法を語る」がユーチューブに載っているので、肉声で聞くことができる。

こんなBIG NAMEが同窓生にいたことを長い間知らなかったことは残念でならない。哀悼。

(本稿は、信毎Webニュース、朝日新聞デジタル、Wikipedia日本語版 等をも参考にした)

## 「図書館情報大学2期生卒業30年を祝う会」を開催して

神田 茂

2015年7月18日、東京・内神田の「ビヤホール かまくら橋」において「図書館情報大学2期生卒業30年を祝う会」を開催した。参加者は53名。対象者137名に対しほぼ4割の出席率は上々と思う。

参加者の職業は、図書館や企業で働く者のほか、カメラマン、ミュージシャンなど多岐にわたる。なお、うち5組は、夫婦での参加である。

当日、30年ぶりの再会では顔を合わせてもお互い誰かわからないのではないかと思い、名札を用意したが、結果として役に立たなかった。会場に入って来た当初は、ぎこちなく席に着いたが、顔を合わせるとその瞬間に当時に戻って打ち解けていた。やはり、同じ「つくばで暮らした者同士」ということか。

プログラムは、乾杯と歓談のみ。スピーチもイベントも入れなかった。間が持つ心配だったが、4時間尽きることなく会場中に歓談の輪が広がっていた。

今回の会合は、昨年10月に同期から「卒業30年を期に集まりたい」とのメールをもらい、考え始めた。会合の中身は図情大2期生による同窓会で、出席者が集まって歓談するのだが、欠席者も含めて互いに元気であることを祝いたい、という思いで名称を「祝う会」とした。

北海道から沖縄まで日本各地で活躍している同期に、一人でも多く都合をつけて集まってもらうのに、早く決めるのが良いと思い、今年1月中旬から日程と場所の検討を始めた。日取りは、遠方から来られる方のために7月の3連休初日とし、会場は、適度な広さ



があり、場所がわかりやすく、融通の利く店に決めた。

その後、1月末には通知を開始した。メールアドレスがわかる同期にメールで知らせ、その先への「拡散」を依頼した。また、2002年に発行された「最新の」同窓会名簿も使って、メールとハガキでの連絡も入れた。この他、同窓会の会報、ホームページおよびFacebookにも掲載していただいた。

何かと苦労は多かったが、実施して良かったと思っている。また、参加者および欠席者含めて70名超とつながりを確認できたことは、貴重な財産となる。

来年以降、順次卒業30年を迎える3期生以降の皆さんも、ぜひ、開催されることをお勧めする。今回の企画・実施により得た知見はすべてお知らせするので、気軽にお申し付けいただきたい。

(かんだ しげる [図情大 昭和59])

### ◆ 橋会会報にご寄稿ください ◆

同窓会・クラス会や、同窓会員・卒業生のみなさまの活動を是非ご寄稿ください。ホームページからお問い合わせください。

橋会ホームページ <http://www.tachibana-kai.com>

→ 会員の皆さまへ → お問い合わせフォーム

## ☆ 卒業生の活動拝見 ☆

自著を語る：

### 『学校図書館に司書がいたら -中学生の豊かな学びを支えるために-』

東京学芸大学附属世田谷中学校司書 村上恭子

母校、図書館短期大学文献情報学科を卒業したのは、1977年のこと。思いがけず学校図書館で働くようになり、以来30数年の時が経ちました。当初は目指すべき学校図書館像がなくて、手探りで仕事をしていたのですが、プロ意識を持って仕事をしている同業者との出会いが、私の仕事への意識を大きく変えました。

昨年6月、学校図書館法が一部改正され、「学校司書」という文言が初めて盛り込まれました。しかし、学校司書を置くことは、あくまで努力目標であり、その資格・要件に関しては白紙状態です。それでも、学校教育において「学校図書館」がはたす役割がけっして小さくないことが認知されてきた結果であると感じています。

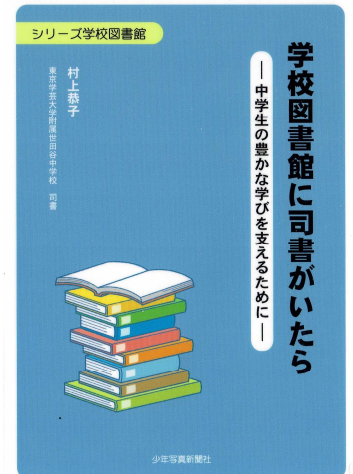
この本の執筆の話をいただき、「学校司書」という仕事が好きで、やりがいを感じながらも、その雇用条件により悪戦苦闘している多くの仲間たちへのエールと、具体的活動のヒントと成り得るならと、思い切って引き受けました。

教師とはちょっと違う視点で、子どもたちの豊かな学びを支え、授業をサポートする「学校司書」の仕事が必要です。そして、館種を超えて、図書館がつながり、「司書」の専門性がもっと確立されることを願っています。

(むらかみ きょうこ  
[図短文情 昭和52])

書誌事項：

学校図書館に司書がいたら：中学生の豊かな学びを支えるために / 村上恭子著。-- 東京：少年写真新聞社，2014.7。-- 175p；挿図；19cm。-- (シリーズ学校図書館)。-- ISBN 978-4-87981-495-1 本体 1,890円



### 公開講演会 橘会臨時総会 大橘会のご案内

開催日：平成27年12月6日（日）

場 所：筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 121 講義室 ※詳細は同封別紙をご参照ください。

#### 公開講演会

14:00～15:30

#### 「高齢社会と図書館」

講 師 溝上 智恵子 教授（筑波大学 知識情報・図書館学類）

参加費： 無料。どなたでも自由に参加できます。ご友人をたくさんお誘いください。

定 員： 50人

#### 橘会臨時総会

15:45～17:00

#### 大橘会

17:30～19:30

場 所： 未定（東京メトロ 丸の内線 茗荷谷駅近辺）

参加希望者には、臨時総会終了後地図をお配りするとともに、ご案内いたします。

会 費： 5,000円程度

◇知識情報・図書館学類の状況：平成27年度◇

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類長 長谷川 秀彦

1) 在籍者数

H27.5.1現在

区分	人数	男女比
1年	109	47 : 53
2年	105	46 : 54
3年	120	46 : 54
4年	135	52 : 48
合計	469	48 : 52

※定員100名+3年次編入10名

2) 主専攻別人数（3年次に主専攻に配属）

主専攻	教員	3年	4年
知識科学	15	39	46
知識情報システム	16	26	34
情報資源経営	18	54	54

3) 進路状況

H27.5.1現在

進路	H25	H26
企業	55(43.6)	53(48.6)
図書館・公務員・教員	29(23.0)	23(21.1)
大学院進学	23(18.3)	22(20.2)
研究生	3(2.4)	0(0.0)
就活中	12(9.5)	5(4.6)
公務員試験等受験予定	3(2.4)	0(0.0)
フリーター	0(0.0)	0(0.0)
その他	1(0.8)	6(5.5)
合計	126(100)	109(100)

※カッコ内は比率

4) 国際インターンシップ

留学先	H26	H27
上海図書館	2	0
トロント日本文化センター	1	0
釜山大学	1	2
ピッツバーグ大学	1	1
合計	5	3

5) 入試志願者数

区分	定員	H25	H26	H27
AC	5	24(4.8)	18(3.6)	18(3.6)
推薦	20	35(1.8)	23(1.2)	45(2.3)
前期	60	165(2.8)	172(2.9)	168(2.8)
後期	15	88(5.9)	119(7.9)	119(7.9)
全体	100	313(3.1)	333(3.3)	350(3.5)
編入	10	34(3.4)	48(4.8)	46(4.6)

※カッコ内は倍率（志願者数/定員）

6) 異動

○新任 2015.4.1

小泉 公乃 助教

○新任 2015.5.1

叶 少瑜 助教

落合 陽一 助教（情報メディア創成）

○新任 2015.7.1

辻 泰明 教授

○退職 2015.3.31

小高 和己 教授（情報メディア創成）

鈴木 誠一郎 教授（情報メディア創成）

鎮目 浩輔 教授

松縄 正登 教授

三森 弘 助教

## 第 12 回総会の記録

〈日時〉平成 27 年 7 月 5 日 (日)  
〈会場〉筑波大学東京キャンパス文京校舎 320 講義室  
〈出席者〉理事・監事を含め、22 名

### 〈総会議事〉

- (1) 開会挨拶 (森茜会長)
- (2) 来賓・顧問紹介
  - ・松本紳 (筑波大学教授・図書館情報メディア系長)
  - ・杉本重雄 (筑波大学教授・図書館情報メディア研究科長)
  - ・中山伸一 (筑波大学教授・附属図書館長・橋会顧問)

#### 杉本重雄教授より挨拶

- ・国立大学法人としての中期計画・中期目標の提出
- ・教育職の多い卒業生のネットワークづくり など

#### 松本紳教授より挨拶

- ・教員の退職・転任・新任、外国人研究者の増員
- ・今後 6 年間で教員を 1 割削減する国の方針への対応
- ・春日キャンパス内に医学専門学群の施設建設 など

#### 中山伸一教授より挨拶

- ・大学と同窓会の今後のあり方を検討
- ・中期計画にともなう図書館・事務組織の改編 など

- (3) 議長選出  
会則第 19 条により森会長が議長に選出された。
- (4) 議事録署名人の指名  
議長のほか、関川雅彦、柴田大輔の 2 名が、議事録署名人として指名、了承された。
- (5) 議事  
(以下の議案について、いずれも異議なく了承された。)

### 1) 平成 26 年度事業報告及び決算報告

#### 1. 会員現勢 (平成 26 年度末現在)

会員 1684 名、平成 26 年度中の入会 6 名、  
学生会員からの移行 12 名、退会 11 名、逝去 10 名

#### 2. 事業報告

- (1) 筑波大学平成 26 年度卒業式に森会長が出席
- (2) 第 11 回総会の開催
- (3) 会報第 17 号 (平成 27 年 3 月) の発行
- (4) 茗溪会本部行事の総会への参加

- (5) 「筑波大学支援図書館情報学振興基金」活動  
\*大橋会・公開講演会の開催はなかった

### 3. 決算報告… (別項の通り)

### 2) 第 6 期役員 (平 26.7~平 28.7) の変更

- ・関川雅彦氏が副会長に就任、松野渉 (筑波大学附属図書館) 氏が新理事に就任する。
- ・森会長より、各役員が紹介された。

### 3) 平成 27 年度事業計画案及び予算案

#### 1. 事業計画

- (1) 会員の一層の拡充
- (2) 会報の発行
- (3) 全卒業生交流会「大橋会」(第 6 回)の開催
- (4) 公開イベントの開催
- (5) 筑波大学校友会及び同窓生各グループ活動との連携
- (6) その他

#### 2. 予算案… (別項の通り)

- ・公開イベントについて提案が出された。  
卒業生の活動が学生に見えるかたちでの開催が望ましい。ホームカミングデーに合わせた従来の開催日以外に、学生が参加しやすい日程・方法が、大学との連携で考えられるのではないかと。

#### 4) その他 (今後の同窓会活動についての自由討議)

- 同窓会のあり方について以下のような意見交換があり、今後を検討を進めることとなった。
- ・筑波大学支援図書館情報学振興基金の残額は約 1 年分であり、後を継承する予算の枠組みを検討して欲しい。
  - ・退職する教員からの寄付の枠組みなど考えられる。
  - ・大学支援を含む橋会の活動を学生に早い段階から PR したい。卒業式で初めて同窓会が紹介されるのではなく、入学時のガイダンスで知る機会がある方がよい。
  - ・学生にとっても同窓会 (卒業生) の活動が見える方がよい。春日キャンパスで卒業生の活動紹介の場もある。

(橋会理事 城谷浩 [図情大 昭和 59])

◇平成 26 年度決算報告◇

収入の部		支出の部	
前年度繰越	7,616,950 円	支出	1,114,480 円
収入	1,035,786 円	次年度繰越	7,538,256 円
合 計	8,652,736 円	合 計	8,652,736 円

一般会計 内訳

収入の部		支出の部	
項 目	決算額	項 目	決算額
前年度繰越	7,616,950 円	広報費	17,084 円
会費	595,000 円	印刷製本費	233,011 円
維持費	364,000 円	通信費	210,944 円
寄附金	66,465 円	貸借費	32,845 円
補助収入	3,850 円	大学支援費	0 円
雑収入	6,471 円	茗溪会本部会費支払い	582,750 円
小 計	1,035,786 円	諸謝金	0 円
収入 合計	8,652,736 円	慶弔費	5,940 円
		消耗品費	1,611 円
		諸経費	30,295 円
		支出 合計	1,114,480 円
		予備費	0 円
		次年度費	7,538,256 円
		計	8,652,736 円

特別会計（筑波大学支援図書館情報学振興基金）内訳

収入の部		支出の部	
項 目	決算額	項 目	決算額
前年度繰越	437,145 円	大学支援金	150,044 円
雑収入（利子）	71 円	諸経費	432 円
小 計	71 円	支出 合計	150,476 円
収入 合計	437,216 円	次年度費	286,740 円
		計	437,216 円

注：支出の部「大学支援金」の内容は下記のとおり

- ・平成 26 年度図書館実習連絡費寄附
- ・平成 26 年度卒業式祝賀会支援

◇平成 27 年度予算 一般会計◇

収入の部		支出の部	
項 目	予算額	項 目	予算額
前年度繰越	7,538,256 円	広報費	20,000 円
会費	770,000 円	印刷製本費	400,000 円
維持費	400,000 円	通信費	350,000 円
寄附金	120,000 円	貸借費	35,000 円
補助収入	160,000 円	大学支援費	100,000 円
雑収入	20,000 円	茗溪会本部会費支払い	693,000 円
小 計	1,470,000 円	諸謝金	100,000 円
収入 合計	9,008,256 円	慶弔費	50,000 円
		消耗品費	10,000 円
		諸経費	30,000 円
		支出 合計	1,788,000 円
		予備費	7,220,256 円
		計	9,008,256 円

注：特別会計は大学側からの要望により支出するため、予算はありません。

## 平成 26 年度事業報告

### 1. 会員現勢について

平成 26 年度末（平成 27 年 3 月 31 日現在）の会員数は以下の通り。

会員 1684 名（卒年別会員数は別表の通り）

平成 26 年度中の異動は、入会：6 名、学生会員からの移行：12 名、退会：11 名、逝去：10 名

### 2. 平成 26 年度活動報告

#### (1) 筑波大学行事への参加

平成 26 年度の卒業式（学位授与式、平成 27 年 3 月 25 日(水)）に森会長が出席した。

#### (2) 第 11 回総会の開催

茗溪会支部「図書館情報学橘会」としての第 11 回総会を平成 26 年 7 月 20 日(日)に開催した。

#### (3) 会報の発行

「図書館情報学橘会会報」第 17 号(通号 23 号)を平成 27 年 3 月に発行した。

#### (4) 茗溪会本部行事参加

平成 27 年 5 月 21 日(木)の、一般社団法人茗溪会の第 4 回(平成 27 年度) 定時総会に、代議員として森会長が出席した。

#### (5) 「筑波大学支援図書館情報学振興基金」の活動

図書館情報学実習連絡費補助、卒業式祝賀会支援を行った。

### 図書館情報学海外研修助成 27 年度採択

橘会では、図書館情報メディア研究科及び知識情報・図書館学類の「図書館情報学海外研修事業」に助成を行っています。これは、学生が諸外国の図書館情報学に関する知見を深めることを目的とするものです。

27 年度の研修事業は、次のお二人にきました。

- ・博士前期課程 1 年 劉 倩秀 さん
- ・博士前期課程 1 年 松山 麻珠 さん

今までの対象者と報告書(抜粋版)は、次のホームページでご覧になることができます。

筑波大学図書館情報メディア系 図書館情報学海外研修助成

<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/students/training.html>

### ◆会員の連絡先変更について◆

会員データの管理は橘会事務局が行っています。会員の皆さんで、住所等連絡先が変更になった方は、橘会ホームページの「連絡先登録・変更フォーム」から登録変更をお願いします。

橘会ホームページ <http://www.tachibana-kai.com/>

ホームページ → 会員の皆さまへ → 連絡先登録変更フォーム

## 平成 27 分会費納入のお願い

今年度会費未納入の会員におかれましては、以下の郵便振替口座または銀行口座宛に納入くださるようお願いいたします。なお、通常会員の会費は 3,500 円です。また通常会費完納者(35 回分納入済みの方)には、橘会円滑な運営のため橘会固有の協力会費 2,000 円を維持費としてお願いしています。

### (郵便振替)

口座番号 00110-5-656101

加入者名 図書館情報学橘会

### (銀行振込)

ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキユウ店)

口座番号 0656101 預金種目 当座

口座名義 トシヨカンジヨウホウガクタチバナカイ

※「振込依頼人名」欄に会員番号の入力をお願いします。

## ◇ 会員現勢 ◇

### 1. 会員数

1,658 名 (平成 27 年 9 月 1 日現在)

### 2. 卒業校別内訳

卒業校	人数	卒業校	人数
文図教習所	1	図大図情専	11
文図講習所	51	図大図情	531
国図附養	1	図大図情修	16
文図養成所	67	図大博前期	11
文図養成 A	155	図大博後期	1
文図養成 B	52	筑図	145
文図養成 1 B	3	筑博図情修士	3
文図養成 2 B	9	筑博図後期	3
図短付養成	20	筑博図情前期	4
図短特養課	115	筑知図	78
図短図書館	301	筑図情	2
図短文献情	78	合計	1,658

### 3. 新入会員は平成 24 年の卒業生から入会金を廃止。会費は 3 年間免除。

平成 27 年 4 月からの新入会員(学生会員からの移行)は 12 名

## 社団法人茗溪会支部図書館情報学橘会

〒305-8550 つくば市春日 1-2 E-mail info@tachibana-kai.com

公式ホームページ <http://www.tachibana-kai.com/index.html>

発行: 2015 年 10 月 1 日